



社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
□町内 35-1270

http://reihokushakyo.com
reihoku.shakyo@ari.bbiq.jp

無料でお譲りします 福祉機器リサイクルコーナー



◎大人用紙オムツ・パンツ

Mサイズ

- ①寝て過ごされる方用（目安67～106cm） 2袋
- ②歩ける、座れる方用（目安65～90cm） 5袋
- ③その他 （目安60～90cm） 2袋

Lサイズ

- ①歩ける、座れる方用（目安85～105cm） 3袋

◎オムツパッド

- ①（目安 幅28cm×長さ64cm） 1袋
- ②（目安 幅21cm×長さ49cm） 3袋

※いずれも未開封品です。

このコーナーは、不要になった福祉機器などを寄付していただき、必要な人に利用していただくためのリサイクルコーナーです。

申込受付期限

*希望される人は、2月9日㈫までに申し込みください。希望者多数の場合は、抽選になります。
抽選は、2月10日㈬午前9時に苓北町保健センターで行います。

*事前にご連絡をいただけますと、現品を確認することもできます。現品は、苓北町新ふれあい館（苓北町志岐32番地3）にあります。

お問合せ先 □35-1270

「福祉巡回車：ふれあい号」を 寄贈いただきました

生命保険協会では、各社の職員が協力をして、地域社会との良好な関係づくりに取組み、住み良い社会環境づくりに貢献する事業を行っています。

事業の一環として、12月17日㈮に生命保険協会熊本県協会から福祉巡回車1台を寄贈いただきました。

いただいた福祉巡回車：ふれあい号は、地域福祉推進のために有効活用します。



第71回“社会を明るくする運動”作文コンテスト

松田栄奈さんが優秀賞を受賞

第71回“社会を明るくする運動”作文コンテストにおいて、富岡小学校5年の松田栄奈さんが熊本県推進員会委員長（県知事）表彰を受賞しました。

1月7日㈮、熊本市立大江公民館大ホールにおいて表彰式が行われ、松田さんは表彰状の贈呈を受けた後、壇上にて受賞作品の『「いじめ」や「差別」をなくすためにできること』を発表しました。



〈プロフィール〉

苓北町志岐で大仁田家7人兄弟（男5人、女2人）の長男として生まれる。幼い頃は、善介さんの父が農業を盛んにしていて、バナナ・リンゴや着物など、他の人がもらえないような物が手に入り裕福であった。（世の中は、からいも・麦飯やカボチャを食べていた時代であった）

善介さんは高校に進学したが、当時は体が弱く一学期だけで辞めることになり、両親の期待に応えることができずに苦労をかけるばかりであった。

それからしばらくして、体が丈夫になり家の農業を継ぐため、熊本の試験場に農業研究生として勉強することになった。卒業後は農業を継ぎ、苓北町のサヤエンドウの栽培の研究発表で東京に行くこともあった。また、町にあった「4Hクラブ」に参加して、青年団活動にも精を出した。

そうした忙しい中、善介さんが29歳の時にお見合いの話があり、後に妻となるアキミさんと出会う。お見合いからわずか20日後、結婚することになった。結婚後は2人の子宝に恵まれる。（現在は孫が2人いらっしゃる）

結婚から2年後に大阪に移り住み、善介さんは左官見習いとして親せきに弟子入りをした。左官として一人前になるまで3年はかかると言われていたが、善介さんは2年で自ら仕事を請け負うまでになっていた。

それから10年後苓北に戻ってきて、大阪での左官の経験を生かして、善介さんはカネマツに勤める。カネマツでは主に舗装業務を担当し、定年の60歳を迎えたが、待遇が良かったことに加え社長の勧めもあって、善介さんは65歳まで勤めた。

そして、現在の善介さんの楽しみは野菜作りである。「若い時は病気がちで苦労したけど、色々と経験したことで今の野菜作りも楽しめています。」

善介さんは笑顔で話されました。

*善介さんが話された内容で掲載しております。

苓北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』を紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.248

色々な経験が、
今的人生に生かされています！

おおにた ぜん すけ 大仁田 善介さん

(昭和12年5月7日生まれ) 满84歳 天神木区在住

問 好きな食べ物

何でも食うけんな。なかでも魚の刺身が良かな。甘かもんでは、特に羊かんが良かですね。

問 好みの異性のタイプは

明るい人。芸能人で言うと美空ひばりさん。どんな歌でもすぐに歌える人だったし、100年に1人しか出ないと昔は言われとったけんな。

問 私の趣味

野菜作りで、トマト・キュウリなどをハウスで栽培したります。今は、Aコープやシープルに出しとるし、以前は本渡のとれたて市場にも出しとりました。

問 私の健康法

水分を多く取るようにしつります。昔はタバコも酒も飲んだけど、ある時に思い立ってスパッとやめてから、全然飲んでいません。

問 思い出

結婚してから都会（大阪）に12年間住んでいたこと。農業のことばかりでなく、自分の人生の中で見方・考えた方の幅が広がり、良い経験になったなと思つります。

問 若い世代へ伝えたいこと

積極的に地域の行事に参加してほしいと思います。

問 町へのメッセージ

苓北町は良かところです。全体的に考えてみて、住みやすいところが良かですね。



善介さん当時30歳の若かりし頃▶